

4 安全・安心

1 自然災害やさまざまな危機に強いまちづくり

新規 防災情報等啓発促進事業 (防災行政無線更新事業)



5,003 千円 予算書 171 ページ 《 担当 危機管理課 》

老朽化が進む防災行政無線設備について、市の現状に見合った更新の基本計画を策定し、これに基づく基本設計を行います。

新規 防災情報等啓発促進事業 (広島県総合行政通信網再編整備事業)



17,340 千円 予算書 171 ページ 《 担当 危機管理課 》

県が実施する広島県総合行政通信網の再編整備費用の一部を負担します。衛星を利用して公共団体間を結ぶ広島県総合行政通信網は、主に災害時の利用を想定して、本庁舎及び消防庁舎に設備を設置中です。現行は第2世代システムと呼ばれるもので、より高性能で安定的な第3世代システムへ更新を行います。

拡充 河川・水路改良保全事業 (一般河川(水路)浚渫事業)



43,000 千円 予算書 151 ページ 《 担当 土木課 》

河川氾濫等による浸水被害を防ぐため、市内の河川(水路)内に堆積している土砂を撤去します。令和6年度は、広原川、奴メリ谷川、比作川の浚渫工事を行います。



浸水対策事業(木野地区)

2,200 千円 予算書 152 ページ 《 担当 土木課 》

大雨時に浸水被害の発生している地区の対策を検討し、浸水被害の軽減を図ります。令和6年度は木野地区の用地測量を行います。

※ 36 ページの「令和6年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください



急傾斜地崩壊対策事業(市)

59,959 千円 予算書 152 ページ 《 担当 土木課 》

急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命を保護するため、対策工事を行います。令和5年度より、奥谷尻地区の崩壊対策工事を行っています。



急傾斜地崩壊対策事業(県)

3,750 千円 予算書 152 ページ 《 担当 監理課 》

県が実施する木野地区などの急傾斜地崩壊対策事業の費用の一部を負担します。



防災・保安体制整備事業 (個別避難計画作成事業)

350 千円 予算書 170 ページ 《 担当 危機管理課 》

災害危険区域に居住する要介護者等で、自力で避難することが困難な避難行動要支援者が、安全かつ確実に避難できるよう、一人ひとりに対し、個別避難計画を作成していきます。



自主防災組織育成指導事業

954 千円 予算書 172 ページ 《 担当 危機管理課 》

地域防災力の向上のため、県の助成金を活用し「避難の呼びかけ体制づくり」を更に推進し、参加組織の能力向上を目指します。

また、自主防災組織への助成金交付や講師派遣などにより、組織の立ち上げや防災訓練などの支援を行うとともに、地域防災リーダー養成研修及びフォローアップ研修による防災知識の習得や技能向上を通じて、地域防災活動の担い手を育成します。

2 事故や犯罪のない安全・安心な地域づくり



新規 市営外灯維持管理事業 (市営外灯LED化事業)

146,580 千円 予算書 145 ページ 《 担当 土木課 》

市内に設置している市営外灯について、夜間の歩行者の安全確保及び犯罪の未然防止を図るため、今後、耐用年数が到来するとともに、製造停止で調達困難になる非LED灯（蛍光灯・水銀灯）を計画的にLED灯へ更新します。

3 市民の命を守る消防体制の充実

新規 救急・救助体制充実事業 (高規格救急自動車整備事業)

51,060 千円 予算書 167 ページ 《 担 消防本部 》

救急・救助体制を充実させ市民の安全安心を守るため、更新計画に基づき、平成20年に整備した高規格救急自動車（高度救命処置用資機材含む）を更新します。

新規 消防団資機材整備事業 (小型動力ポンプ付軽積載車整備事業)

8,379 千円 予算書 169 ページ 《 担 消防本部 》

第11分団第3部（栗谷地区、女性消防団）の小型動力ポンプ付軽積載車を更新します。

新規 消防屯所改築事業

9,540 千円 予算書 169～170 ページ 《 担 消防本部 》

市民の安全安心を守るため、浸水想定区域内に立地している消防団第9分団（玖波地区）の消防屯所を移転改築します。
令和6年度は、改築設計を行います。